

大阪木津市場カンパニー — 篠山神社例祭

9月26日、大阪市浪速区にある難波八阪神社内の篠山神社境内にて、大阪木津市場カンパニー島田カンパニー長、大阪木津卸売市場協会前会長、乾副会長、丹井副会長ら約20名が集い、篠山十兵衛代官を祭る例祭が斎行されました。

篠山十兵衛代官は、江戸時代にこの地域の代官として勤務し、摂津、河内、播磨の三国の惣代を務め、住民たちがこの地に青物市場を開設するよう嘆願し、当代官の尽力により木津市場の開設が許可される契機となりました。その功績を記念し、難波八阪神社に篠山神社が創建されました。例祭は、毎年9月26日に執り行われて、50年ほどの歴史があります。

例祭の式では、木津市場より、鯛や青果、蔬菜、乾物などが奉納され、また、宮司により木津市場の繁栄発展を祈る祈禱も行われました。この神事は、大阪木津卸売市場カンパニーと市場協会の関係者にとって重要な日であり、篠山神社に感謝の気持ちと、さらなる木津市場の繁栄を願って行われております。

